

9月21日(日)・大会2日目 10:45~12:15 (C会場:17512教室)(90分)

●セッション【8】

『組織科学』60周年企画セッション 「善き社会のための経営学」

土肥将敦(現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授)

岩尾俊兵(慶應義塾大学商学部 准教授)

渡邊万里子(東京理科大学経営学部経営学科 講師)

* 森永雄太(早稲田大学グローバル・エデュケーション・センター 教授)

*セッション・リーダー

〔 概 要 〕

『組織科学』はまもなく創刊60周年を迎えます。人にたとえれば、還暦です。これを機に、これまで『組織科学』や組織学会の中で十分に検討されてこなかったものの、今後検討すべき領域・テーマ・対象について展望する場を設けたいと考えています。

今回のセッションでは、「経営学は社会を善くするためにどのような貢献ができるのか」という問いを軸に、異なる専門領域の研究者が、それぞれの分野で今後取り組むべき重要なトピックや対象を紹介し、土肥報告では「ソーシャル・イノベーション研究のジレンマ:研究と実践の狭間で」、岩尾報告では「倒産学と再建学:経営(学)のアクション・リサーチは学問になりうるか?」、渡邊報告では「アントレプレナーシップ教育の再考:学校教育とHRMの接点」、森永報告では「リーダーシップ教育の広がり」というテーマで話題提供を行います。

〔 参加者へのメッセージ 〕

前半の60分では、4名の登壇者がそれぞれ報告を行い、後半の30分を質疑応答とディスカッションにあてます。なお、本セッションの報告の一部は、『組織科学』に創刊60周年記念特集として掲載される予定です。年次大会での活発な議論を通じて、記念号の内容がさらに充実することを期待しています。多くの学会員の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。